

+ rtr ポ

自由が丘の地下に、秘密基地のようなアートスペースができました。

“面白いことを、集めて、繋げて、カタチにする。そして世の中に広げていく。”をコンセプトとした、ワクワクするモノやコトが集まるアートスペース。様々なアーティスト作品の販売をはじめ、ワークショップやパフォーマンス、アートイベントなどを期間限定で毎週末行います。



EVENT /PARTY

PARTY : Houxo Queライブペインティング&DJパーティー

ブラックライトを使ったインスタレーション作品「day and night」でBRUTUSや+81、rtrなどのメディアで紹介され反響を呼んだアーティスト Houxo Que によるスペシャルライブペインティングと他分野で活躍する個性的なDJ陣による、落ち着いた大人の音楽をまったりと楽しむ特別な一日。



4/7(土)
17:00-23:00



Houxo Que (アーティスト)

HUOVA主賓。まるで花をいけるようにモチーフの魂と生命力を画面に付けてしまう美術家。蛍光塗料を用いて自在に描かれる作品は艶めいた光を放ち狂おしく美しい。ライブペイント主体のショウケース“HUOVA”のプロデューサーやギャラリー“REAN”のキュレーションなど、その活動は多彩。ブラックライトを使ったインスタレーション作品「day and night」はBRUTUSや+81、rtrなどのメディアで紹介され反響を呼んだ。
www.quehouxo.com

TALK LIVE : Cueの部屋 ビューティー&セレブ対談〜 Guest: 辛酸なめ子

漫画家・コラムニストの辛酸なめ子さんをお招きして、ちょっぴり毒舌のビューティー&セレブ対談♥
普段は聞けないプライベートなトークが聞けるかも。おいしいお酒を飲みながら、ごゆるりと参加してみませんか？



4/21(土)
19:30-21:00



成田 久 (アーティスト&アートディレクター)

アーティスト&資生堂宣伝制作部のアートディレクターとして活動中。テキスタイルやドローイングなど定期的に発表しつつ、資生堂 マキアージュ、アネッサ、マジェリ等を経て、現在はuno や銀座セブ丁目目オープンしたSHISEIDO THE GINZAを担当。お店から発行しているフリーペーパーギンザドキドキの編集長でもある。最近では2月にマガジンハウスから発売された権れい写真集「Ray」のアートディレクションも。5月には新御徒町にてオリジナルスペースをOPEN予定★



辛酸なめ子 (漫画家・コラムニスト)

常にセレブやアイドル、芸能人をウォッチし続け、愛情たっぷりに毒を吐く漫画家・コラムニスト。また辛酸なめ子として漫画で活躍する他、本名の池松江美文筆やアート作品など幅広く活躍。主な著書に、『ヨコモレ通信』(文藝春秋)、『消費セラピー』(集英社文庫)、『女子の国はいつも内戦』(河出書房新社)、『片付けられない女は卒業します』(MF文庫)など。

■物販商品例（予定）



イイダ傘店（傘作家）

個人オーダーのみの傘屋。傘用に生地を制作し、毎年オーダー会を日本各地で開く。映画やCMで使用する特注の傘も制作。

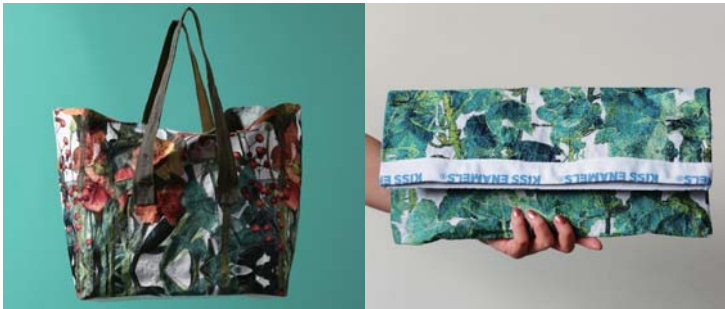
www.iida-kasaten.jp



MicroWorks（プロダクト）

日々の生活を楽しく豊かに変えてしまうようなコンセプチュアルなデザインを多数手掛けるデザインスタジオ。iida (au) やmass itemのディレクション等、様々なプロジェクトに参加する一方、セルフプロデュースレーベル“MicroWorks Label”ではオリジナルプロダクトを中心に企画・製造し、自ら販売を行う。

www.microworks.jp



enamel.

enamel.（デザイナー）

石岡良治と石岡紗佐里が運営するデザインオフィス。オリジナルワークには、ファッションやインテリアなどに関するオリジナルプロダクトの制作、クライアントワークでは、アートディレクション、グラフィック・デザインをはじめとする、パッケージ、テキスタイルデザイン、ウェブデザインなどイメージブランディングを手掛けている。また、毎週火曜日には渋谷区大山町の自社アトリエを開放、オリジナルプロダクトの販売や卸しを行っている。

www.enamel.co.jp



mute

mute（デザイナー）

イトウケンジとウミノタカヒロにより2008年に結成。共に桑沢デザイン研究所卒業。静かでありながらも生活の中で確かな存在になっていくものを目指し、幅広く活動しています。

www.mu-te.com



谷村 友（絵描き）

インクを使って描き出す不思議な世界。無国籍でどこかノスタルジックな印象を与えます。

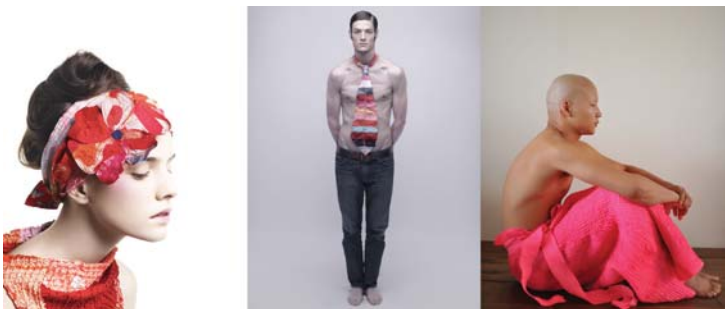
www.yanyuu.net



吉富寛基（プロダクト）

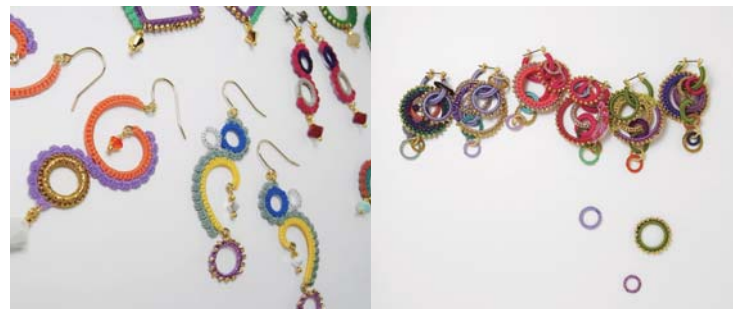
プロダクトデザインを軸に、そこから派生していく様々な事柄に携わり、クライアントへの日用品をはじめとするデザインの提供や商品開発のサポート、新規ブランドのトータルデザイン、地場産業事業の商品企画など多岐に渡る。

www.yoshiogoodrich.com



成田 久（アーティスト&アートディレクター）

アーティスト&資生堂宣伝制作部のアートディレクターとして活動中。テキスタイルやドローイングなど定期的に発表しつつ、資生堂マキアージュ、アネッサ、マシェリ等を経て、現在はunoや銀座七丁目にオープンしたSHISEIDO THE GINZAを担当。お店から発行してるフリーペーパーギンザドキドキの編集長でもある。最近では2月にマガジンハウスから発売された格れい写真集「Ray」のアートディレクションも。5月には新御使町にてオリジナルスペースをOPEN 予定★



Yofu（アクセサリー作家）

ドローイングのような感覚でアクセサリーを制作しています。それぞれが特徴的な色彩を持つアクセサリ、手にとって下さった方の自由な感覚で身に着け、「Yofu！」な気持ちで楽しんでください。

www.yofu-drawing.com

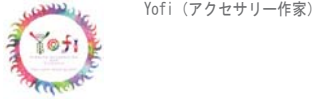
■ワークショップ

WORKSHOP : drawing accessories

カラフルなビーズや Yofi オリジナルパーツを糸に通してレース針で編んでネックレスやブレスレットを作ります。色の組み合わせを自由に楽しむワークショップです。世界でひとつだけの「あなただけの」アクセサリーを作りたい。



① 3/18 (日) 13:00-15:00
 ② 3/18 (日) 16:00-18:00
 ③ 4/7 (土) 13:00-15:00
 参加費 : プレスレット 3,000円
 ショートネックレス 3,500円
 ロングネックレス 4,000円
(コピーとお菓子つき)
 定員 : 各10名
 対象 : 老若男女
(小学生以下のご参加の場合は、保護者同伴でお願い致します)



Yofi (アクセサリー作家)

WORKSHOP :

近日中に詳細情報をUP予定。



3/31 (土)
 詳細未定

Cafe Obscura (珈琲屋)

Cafe Obscuraでは、スペシャルティコーヒーという最高品質のコーヒーだけを使用。普段の生活や特別な日に、ご家庭やお店で「コーヒーのある生活」を楽しむきっかけを提供していきます。スペシャルティコーヒーに特化し、農園単位でコーヒーの生豆を選別。豆と対話しながら焙煎によって『豆そのものの特性』を最大限に生かし、最高の飲み口を追求していきます。

www.cafe-obscura.com

WORKSHOP : 感性の花を生み出す

素材に花を用い、メリアテックを使って、この世にないオリジナルの花を制作します。花が好きなのはもちろん、普段花に触れる機会のない男性などの参加もお待ちしております。



4/1 (日)
 ① 11:00-12:00
 ② 13:00-14:00
 ③ 15:00-16:00
 参加費 : 3,000円
 定員 : 各10名
 対象 : 老若男女

中島 良 (フラワースタ일리スト)

19歳から花業界に身を置き、協会や流派に囚われず独学で学び、スタンダードな普段使いの花から個性的な芸術表現まで、スタイルは変幻自在。現在は軽井沢を拠点に、イベント装花・ブライダルを中心に活動中。

WORKSHOP : 紙を折る、切る、春。

紙袋や包装紙など、押し入れに眠っている魅力的な紙の素材を使って、この春の贈り物シーズンにふさわしいご祝儀袋やメッセージカード、そして紙のコサージュなどのオリジナルのペーパーアイテムを作ります。お店で購入するのはひとつ味違う、自分で作る楽しさを体験してみませんか？



4/8 (土)
 ① 11:30-13:00
 ② 14:00-15:30
 ③ 16:00-17:30
 参加費 : 1,000円
 定員 : 各6名
 対象 : 老若男女

宮田泰地 (デザイナー)

1982年横浜生まれ。2005年多摩美術大学(プロダクトデザイン専攻)卒業。同大学研究室勤務の後、デザイン事務所にてプロダクトデザイナーを経て、現在『かみの工作所』を展開する福永紙工株式会社にて紙の構造設計を担当。



WORKSHOP : 春の刺繍会「これにネ」

僕の眼鏡ハンカチーフにお好みに落書きするように楽しく、実力ワイク、面白く、午後のひととき一緒に刺繍をしてみませんか？完成したハンカチーフはもちろん持ち帰れます。お店で販売してもOKです。新しい僕を削ってください★



4/21 (土)
 14:00-18:00

参加費 : 4,000円
(お菓子休憩つき)
 定員 : 10名
 対象 : 老若男女

成田 久 (アーティスト&アートディレクター)



WORKSHOP : Little Creators Labo

子供の「発想力」を育む、作って楽しむワークショップ/いろんな素材で葉っぱを作り、モビールを完成させると素敵な森ができあがります。たくさん組み立てて、みんなで森を作ってみましょう！



3/24 (土)
 4/14 (土)

参加費 : 2,000円
 定員 : 10名
 対象 : 小学生低学年~高学年

LABORATORIAN+相澤千晶 (デザイン)

アートディレクターの相澤千晶とデザインスタジオLABORATORIANの本田吉昌、手塚美砂子。各人ともデザインの仕事をしながら大学や専門学校で教鞭を取る。モノを生み出す中での発想や閃きを、遊びながら学ぶワークショップとして開催。

www.laboratorian.jp



WORKSHOP :

近日中に詳細情報をUP予定。



4/14 (土)
 詳細未定

高木耕一郎 (美術家)

東京で生まれ、NYを制作拠点にした後に帰国した高木はペインティングから刺繍まで作風の幅は広い。彼の作品はある種の居心地の悪さや矛盾を内包しており、揺れ動く人々の心情を抱えている矛盾を描きながら、ある種の理想郷の存在を表現している。国内外で個展開催し画家として精力的な活動し、またアパレルブランドへのデザイン提供やコラボレーションも多く行っている

www.koichirotagaki.com



WORKSHOP : 「野生のシャツに関するオープンラボラトリ」

普段みなさまがふれる機会の少ない「衣服生物学」の現場を知っていただくため、一日だけのスペシャルプログラムとしてオープンラボラトリを開催いたします。当日は「野生のシャツ」の標本展示などあわせ、ヴェンデルグで近年盛んである「野生のシャツのレプリカ」のセミオーダーを実施。



4/15 (日)
 13:00-21:00

参加費 : 無料
 定員 : なし
 対象 : 老若男女

大江 よう (衣服生物学研究所 所長代理)

日本唯一の衣服生物学研究機関であり、ジュネーブに本部を置く国際衣服生物学協会では十二番目の承認機関となる。衣服生物学の進展による被服文化の向上をめざし、所長ジャスパー=フェレット、所長代理大江よう、他13名の研究員で構成される。



■参加アーティスト（予定）

●イイダ傘店（傘作家）●衣服生物学研究所（染色）●enamel.（プロダクト）●cafe Obscura（珈琲屋）●熊谷彰博（デザイナー）
●klala (shop) ●studio note（プロダクト） ●高木耕一郎（美術家） ●谷村友（絵描き） ●中島良（フラワースタイリスト） ●成田久（アーティスト / アートディレクター） ●QueHouxo（アーティスト） ●MicroWorks（プロダクト） ●宮田泰地（デザイナー） ●mute（プロダクト） ●Perrocaliente（プロダクト） ●yofi（ジュエリー作家） ●LABORATORIAN+相澤千晶（デザイン）

■概要

日程：2012年3月17日(土)～4月29日(日)

OPEN：毎週土日11:00～19:00

CLOSE：平日

EVENT/WORKSHOP：隔週土日

場所：東京都目黒区自由が丘1-26-14 オクズミビルB1
(自由が丘駅正面口徒歩2分)

URL:<http://www.plus-labo.com>

TW: <https://twitter.com/#!/palabolars>

FB: <http://www.facebook.com/pluslabo.palabola>

企画運営：design labo PALABOLA

監修：大野賢二 滝沢時雄 折橋みな

作成協力：中山弘規 久原昇 小林慶太

後援：自由が丘商店街振興組合 株式会社ジェイ・スピリット

協賛：目黒区 サッポロビール株式会社 オーデリック株式会社

■design labo PALABOLAについて <http://palabola.com/>

2008年発足。多摩美術大学出身の若手インハウスデザイナー8人で構成されるデザインラボ。

普段はそれぞれの会社でプロダクトデザイナーとして働きながら定期的集まり、「面白いことを、集めて、繋げて、カタチにする。そして、世の中に広げていく。」をモットーに、デザインの制作や企画など様々な活動を行っています。

<活動実績>

ウェディングギフト

これから夫婦となる二人から、縁（ゆかり）ある人々へと贈る、引き出物のデザインプロジェクト。依頼主の「結婚式の雰囲気の皆様思い出として持ち帰って頂きたい」という思いを表現したお皿を作りました。数々の話し合いを経て作られたこのお皿には、多くの花々で飾られた依頼主の披露宴会場の雰囲気が詰め込まれています。お皿はもちろん、家に帰って封をとく「時」を演出する箱もつくりました。箱を開けた時、美しい一輪の花と出会ったような感覚とその瞬間をイメージし、「もらった皆様の食卓にも幸せの花が咲きますように」という作り手と贈り手の思いを込め「咲」と名づけられたお皿です。



咲 2010.05

the new market

セルフプロダクションのクリエイターが参加する「the new market」に出展しました。design laboとして新しい試みにチャレンジしたくプロダクトの枠を超え、「食」にフォーカスし、なかでも「お菓子」のデザインを行いました。エキシビジョンとして目を引くモノを意識し、普段とは異なるプロセスでプロダクト（お菓子）を創りあげました。喜怒哀楽を表現し、「ロマン～笑い」までのお菓子を想いを込めて創りあげました。パラボラとしての新たな取り組みです。お菓子の製作協力にはパティシエの渡辺香里さんに協力いただきました。



「おかしな展」 2010.11

WHY DON'T YOU PINK? 展

散り花で、レジャーシートをつくりました。花々の上にふんわり座って、ほっぺもほんのりピンク色。お花見だって、かわいくしましょ。東京女子プロジェクトによる企画展“WHY DON'T YOU PINK? 展”への出展作品。“PINKにすればいつもよりちょっぴり楽しくなるでしょ”を合言葉に、東京でがんばる女子のための、シアワセ開発プロジェクト。



花々 - hanabana- 2011.03

ウェディングギフト

とある素敵な夫婦が自らの結婚式をプロデュースした際に一緒に創りあげた引き出物のデザインプロジェクト。依頼主の夫婦を表現したく、「色と色」の重なりがこれから共に生きていく「新郎と新婦」を表現した2つのパーツから成る花器を創りました。2つ（2人）の存在はお互いにとって特別であり、ふたりでいることでより大きな力が出せるのだと思います。ふたつのガラスの重なりでより豊かに、より特別に、そんなふたりを表現した花器は「UNITE」と名付けられました。



UNITE 2011.05

■大野賢二

インテリアショップバイヤー

バイヤーの視点から今回の+ラボでは全体監修を務める。

■滝沢時雄

インテリアショップバイヤーの傍らに、三軒茶屋にある器とオブジェと雑貨のお店 klala

(<http://www.klala.net>) を運営をするキュレーター。

今回の「+ラボ」では 監修に加え、持ち込みの企画展を行う予定。



以上、本エキシビジョンは多くのおみなさまに楽しんで頂けるデザインイベントを目指しております。つきましては、ぜひ貴媒体にてお取り扱いいただき報道していただけますようよろしくお願い申し上げます。ご不明な点や広報用の画像・資料等のご要望、インタビュー・撮影等の取材をご希望される場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ

press@plus-labo.com

広報担当：desing labo PALABOLA 奥角（オクズミ） 090-7963-0439